

CONTENTS

2008

2

土と基礎

Vol.56 No.2 Ser.No.601

地盤工学会誌

口絵写真

既設アースダム堤体の耐震性能評価法—レベル1地震動を想定して—
 第二回学生学校対抗ソイルタワーコンテスト開催報告
 米国におけるCPT (Cone Penetration Test)・ダイレクトプッシュ技術最新動向調査報告書
 講座「土砂災害ハザードマップ」
 6. ハザードマップと住民意識

特集テーマ：各種構造物の維持管理

総説	維持管理と更新のための技術 1 ●太田 秀樹
論説	高速道路における土構造物の維持管理 2 ●大窪 克己/藤岡 一頼/竹本 将
	河川堤防の維持管理・更新技術 4 ●中島 秀雄
	港湾・空港の維持管理・更新技術 8 ●渡部 要一
	鉄道における構造物の維持管理技術 12 ●羽矢 洋
報告	名古屋市における上下水道施設の更新事業への取り組み 16 ●英比 勝正
	ダムの維持管理・更新技術と実例について 20 ●佐藤 弘行
(投稿)	既設アースダム堤体の耐震性能評価法—レベル1地震動を想定して— 24 ●正垣 孝晴/高橋 章/熊谷 尚久
(投稿)	2004年新潟県中越地震に起因する複数の斜面災害—小千谷市を主として— 28 ●福田 誠/新関 敦生/木村 智博/吉泉 直樹/南波 真希子/青山 清道
技術紹介	“基盤の目”の棋譜—格子状補強枠を有するシート工法の開発軌跡— 32 ●北本 幸義/柴田 健一
寄稿	「あっという間の1年、地盤っておもしろい」～関東学院大学・地盤研の生活～ 34 ●山口 恵美/村上 実嘉子

複写をされる方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先:(中法)学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

電話 (03)3475-5618 FAX (03)3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡下さい。

アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

資 料	室内試験関係日本工業規格 (JIS) の改正について36
	学会基準
	「JGS 0911: ジオテキスタイルの見かけの開孔径試験方法」
	「JGS 0931: ジオテキスタイルの垂直方向透水性能試験方法」
	「JGS 0932: ジオテキスタイルの面内方向通水性能試験方法」
	「JGS 0941: 土とジオテキスタイルの摩擦特性試験方法」の改正案について44
	●地盤工学会基準部
学会の動き	地盤工学会誌「土と基礎」の名称変更について47
	●永瀬 英生
(ISOだより -95)	土はゴミか、やはり土か? — ついに出来た、ISO/TC 190 (地盤環境) で直面しつつある不整合49
	●地盤工学会 ISO 国内委員会
(国際活動 から)	「ATC10 Urban-Geoinformatics」の活動について51
	●地盤工学会 ATC 10国内委員会
国内の動き	第二回学生学校対抗ソイルタワーコンテスト開催報告53
	●関東支部会員サービスグループ
海外の動き	米国における CPT (Cone Penetration Test) ・ダイレクトプッシュ技術 最新動向調査報告書54
	●調査研究部「最近の CPT テクノロジーとその設計・環境・防災への適用に関する研究委員会」
	真空圧密技術を使ったスリランカ高速道路プロジェクト57
	●太田 秀樹
技術手帳	ファイトレメディエーション58
	●近藤 敏仁
講 座	土砂災害ハザードマップ
	6. ハザードマップと住民意識60
	●関谷 直也/田中 淳
	アジア地域における地下水環境
	6. 中国の地下水利用の現状と問題点68
	●唐 常源
	会告: 第2期代議員選挙のお知らせ76
	近着の市販雑誌から、最近の学会活動から78
	新入会員、お詫びと訂正79
	編集後記80